

# 2021 年度事業報告

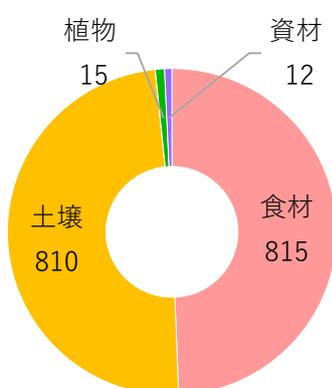
## 【放射能測定事業】

2021 年度は 4 月から一般測定の受付を開始したトリチウムの電解濃縮装置に加え、2 台目のゲルマニウム半導体検出器の導入に伴い、測定件数が前年度と比べ、約 600 件増加しました。また、福島第一原発の処理汚染水の海洋放出が間近に迫る中、海洋調査の内容や回数を見直し、モニタリングの強化を図りました。食材測定では依頼検体の他に、セシウム の値が比較的高めである山菜類・きのこ類の測定や海砂・公園測定、地域のお母さんたちと連携し、子どもたちの生活環境の調査も継続して行いました。また、原発事故発生時の防災の観点から、「緊急時における放射性物質の測定動画」の制作も行いました。原子力災害はいつ、どこで起こるか予測できないことから、緊急時に備えておくことはとても大切だと思います。

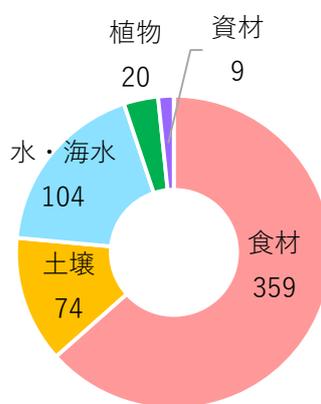
原発事故から 11 年が経ち、たらちねの測定事業も 12 年目になりました。未だに続く放射能汚染、処理汚染水の海洋放出、先の見えない廃炉作業、避難や帰還の問題と多くの課題を抱えています。今後も地域の皆さんに役立つデータと次世代へ継いでいくデータを残すため、変わらず測り続けていきたいと思っています。

○2021 年度測定件数 合計 2,508 件(セシウム 137、セシウム 134、ストロンチウム 90、トリチウム)

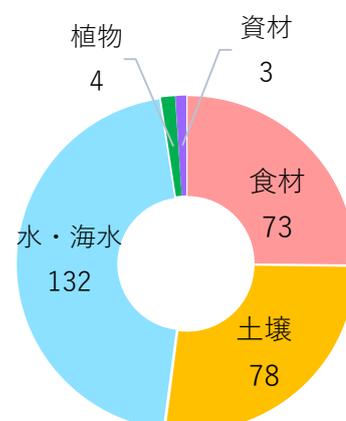
NaI シンチレーション測定器  
(セシウム 137、セシウム 134)  
総測定件数：1,652 件



ゲルマニウム半導体測定器  
(セシウム 137、セシウム 134)  
総測定件数：566 件



液体シンチレーションカウンター  
(ストロンチウム 90、トリチウム)  
総測定件数：290 件



○2 台目ゲルマニウム半導体検出器の導入

2021年8月に福島市で測定業務を行っていた企業様から寄贈していただきました。測定器は「あとりえ・たらちね」の測定器室に設置しました。検体の種類に合わせて測定器を使い分け、より正確な値を出せるように工夫を凝らしています。

CANBERRA GC4020 相対効率 43.5%



○海洋調査(港湾)

2021年11月に東京電力が発表した拡散シミュレーションによると、沖合だけでなく、陸地に沿って南北に流れていくことが多いという結果になっていることから、従来の原発沖合や港湾での調査に加えて、年2回8ヵ所の定点調査を行いました。

【海水採取地点】 2021年11月・12月採取

測定結果の単位： Bq/L



海水測定結果	セシウム137		セシウム134	
	測定結果	検出下限値	測定結果	検出下限値
①相馬港	0.007 ± 0.0006	0.001	ND	0.001
②萱浜海岸	0.006 ± 0.0006	0.001	ND	0.001
③請戸港	0.013 ± 0.0007	0.001	ND	0.001
④マリンハウス双葉前 (双葉海水浴場)	0.019 ± 0.0007	0.001	ND	0.001
⑤熊川河口付近	0.043 ± 0.001	0.0009	ND	0.001
⑥富岡港	0.017 ± 0.0007	0.001	ND	0.001
⑦広野火力横 (岩沢海水浴場)	0.011 ± 0.0006	0.001	ND	0.001
⑧小名浜港	0.005 ± 0.0006	0.001	ND	0.001

○海洋調査結果(沖合)

沖合の海洋調査は東京電力敷地内の陸から半径 1.5km より外側の海域の A~C の地点でサンプリングを行っていましたが、海洋放出のトンネル側である地点 D を新たに増やしました。



2021 年度 沖合調査回数 4 回

第 24 回 2021 年 5 月 12 日  
第一原発沖・富岡港

第 25 回 2021 年 8 月 24 日  
第一原発沖・富岡港

第 26 回 2021 年 11 月 17 日  
第一原発沖・富岡港

第 28 回 2022 年 2 月 24 日  
第一原発沖・富岡港

測定結果の単位： Bq/L

第24回海洋調査 海水測定結果		セシウム137		セシウム134		自由水型トリチウム		ストロンチウム90	
		測定結果	検出下限値	測定結果	検出下限値	測定結果	検出下限値	測定結果	検出下限値
福島第一原発 1.5km沖	A地点 表層	0.005 ± 0.0005	0.0009	ND	0.001	ND	0.14	0.0011 ± 0.0005	0.0007
	A地点 下層	0.009 ± 0.0006	0.001	ND	0.001	ND	0.14	ND	0.0006
	B地点 表層	0.003 ± 0.0005	0.001	ND	0.001	ND	0.14	0.0009 ± 0.0004	0.0007
	B地点 下層	0.004 ± 0.0005	0.001	ND	0.001	ND	0.14	0.0008 ± 0.0004	0.0006
	C地点 表層	0.004 ± 0.0005	0.0009	ND	0.001	ND	0.14	ND	0.0009
	C地点 下層	0.004 ± 0.0005	0.001	ND	0.001	ND	0.14	ND	0.0006
	D地点 表層	0.004 ± 0.0005	0.0009	ND	0.001	ND	0.14	ND	0.0007
	D地点 下層	0.003 ± 0.0005	0.0009	ND	0.001	ND	0.14	ND	0.0005

測定結果の単位： セシウム Bq/kg 生、有機結合型トリチウム・ストロンチウム 90 → Bq/kg 乾

魚 測定結果	セシウム137		セシウム134		有機結合型トリチウム		ストロンチウム90	
	測定結果	検出下限値	測定結果	検出下限値	測定結果	検出下限値	測定結果	検出下限値
クロソイ No.1	2.8 ± 0.1	0.2	0.1 ± 0.09	0.1	ND	1.11	ND	0.1
シロメバル No.2	1.8 ± 0.1	0.2	ND	0.2	ND	1.09	0.31 ± 0.10	0.15
サバ No.3	0.3 ± 0.1	0.2	ND	0.2	—	—	—	—
サバ No.4	0.3 ± 0.1	0.2	ND	0.2	ND	1.12	ND	0.28
シロメバル No.5	1.4 ± 0.08	0.1	ND	0.1	—	—	—	—
シロメバル No.6	2.7 ± 0.2	0.4	ND	0.4	—	—	0.17 ± 0.09	0.14
シロメバル No.7	1.5 ± 0.1	0.2	ND	0.2	—	—	—	—
シロメバル No.8	0.9 ± 0.2	0.3	ND	0.4	—	—	ND	0.48

※ N D (不検出) は、放射性物質が全く存在しないことを意味するのではなく、測定値が検出下限値未満であることを示します。

○湖水調査(猪苗代湖・檜原湖)

昨年度に引き続き、猪苗代湖の湖水調査を行いました。また、新たに檜原湖でのサンプリングも行い、測定値の比較も行いました。海と比べて、汚染が広がらず、残り続ける可能性があることから、今後も定期的に調査を行っていきたいと思います。

猪苗代湖 2021年10月4日



檜原湖 2021年10月8日



測定結果の単位： Bq/L

採取場所	猪苗代湖				檜原湖			
	表層	検出下限値	下層	検出下限値	表層	検出下限値	下層	検出下限値
セシウム137	0.003±0.0005	0.001	0.025±0.0008	0.001	0.005±0.0005	0.001	0.122±0.0016	0.001
セシウム134	ND	0.001	ND	0.001	ND	0.001	0.004±0.0006	0.001
自由水型トリチウム	0.32±0.16	0.14	0.30±0.16	0.14	0.36±0.17	0.14	0.43±0.18	0.14
ストロンチウム90	ND	0.0006	0.0008±0.0004	0.0006	0.0008±0.0005	0.0007	0.0009±0.0004	0.0006

測定結果の単位： セシウム Bq/kg 乾、ストロンチウム 90→Bq/kg 乾

採取場所	猪苗代湖 湖底土					
	0-5cm	5-10cm	10-15cm	15-20cm	20-25cm	25-30cm
セシウム137	1255.9±10.3	159.9±4.0	35.3±0.9	41.2±2.2	12.3±1.3	1.3±0.3
セシウム134	48.6±2.3	6.7±1.3	ND(<0.8)	ND(<1.9)	ND(<2.0)	ND(<0.7)
ストロンチウム90	ND(<1.46)	—	1.74±1.08	—	—	ND(<1.56)

採取場所	檜原湖 湖底土					
	0-5cm	5-10cm	10-15cm	15-20cm	20-25cm	25-30cm
セシウム137	4600.6±18.5	7448.8±27.6	1140.9±10.7	67.1±0.5	88.3±0.9	90.6±0.6
セシウム134	171.5±4.0	268±5.9	39.7±2.5	0.8±0.2	ND(<0.6)	ND(<0.4)
ストロンチウム90	ND(<1.55)	ND(<1.66)	ND(<1.54)	—	—	ND(<1.59)

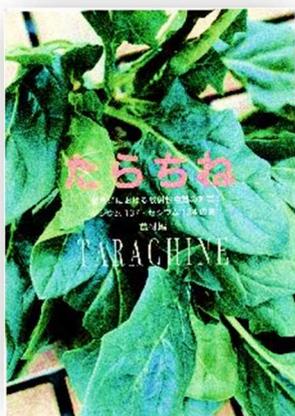
※ND(不検出)は、放射性物質が全く存在しないことを意味するのではなく、測定値が検出下限値未満であることを示します。

## ○地域のお母さんたちとの連携

「TEAM ママベク子どもの環境守り隊」、「くまべこ・子どもを守るママの会」等、地域で活動しているお母さんたちとの連携を深めていき、子どもたちの遊び場である公園や学校等の環境を見守りました。令和4年度に開校する「大熊町 学び舎 ゆめの森」の空間線量と土壌の測定を「くまべこ・子どもを守るママの会」とたらちねの協働で行いました。その際、 $0.3\mu\text{Sv/h}$  と高線量の値を示す斜面があったことから、専門家の先生を通じ、行政に除染のお願いと継続測定、除染のフォローアップの要請をしました。そして除染が行われることが決定しました。測定することで、子どもたちの環境が守られる形となりました。

## ○「防災・緊急時における放射性物質の測定動画」の制作

原発事故が起きるなどの緊急時に測定器があれば、誰でも測定ができるよう、試料の処理から測定器の扱い方、結果の見方までそれぞれの工程に解説を付けて制作しました。また動画だけでなく、手元に置いて見れるよう、紙媒体の資料も作りしました。今後は試料や放射性物質の核種など種類分けをしてシリーズ化していく予定です。



## 【甲状腺検診事業】

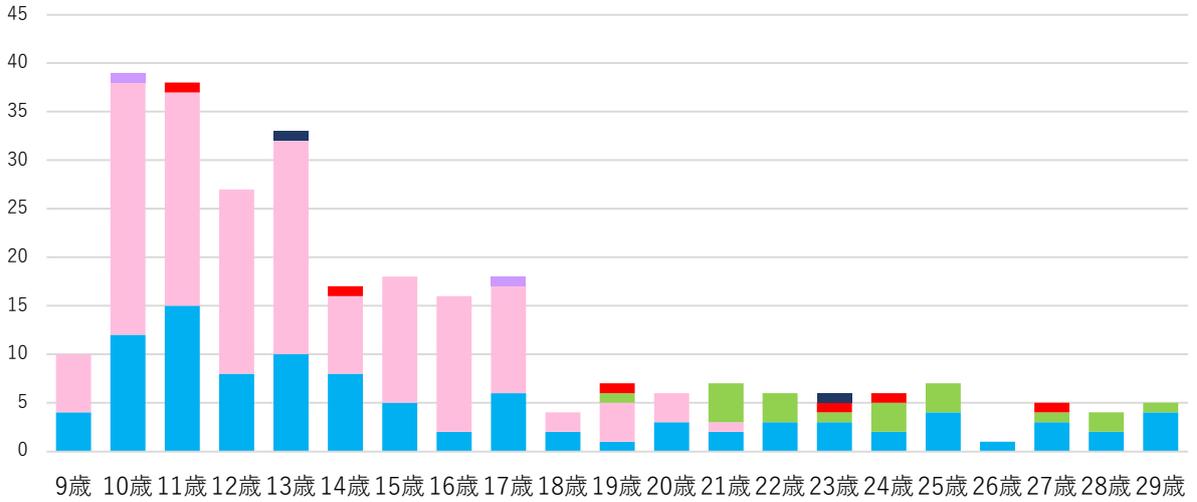
たらちねの出張甲状腺検診は福島県内や近隣地域の公民館などを使用して行っていますが、新型コロナウイルスの感染拡大により公共施設利用が停止となり、検診を中止せざるを得ない回が今年度も多くありました。検診実施の際は予約時間の間隔を空け、消毒や検温など感染対策を徹底した上で行いました。原発事故から11年が経ちましたが、検診の実施を望む声を多く頂いています。甲状腺検診の縮小化の動きもある中で、自身の健康を気軽に確認できる機会を提供することは、地域で暮らしていく皆さんにとって、必要不可欠なものであると考えます。今後も新型コロナウイルス感染状況や福島の現状を踏まえ、定期的な検診を継続していきたいと思います。

### ○2021年度検診実施一覧

出張検診日	会場	地域	検診人数
2021年4月11日	中郷町多目的集会場	茨城県北茨城市	46人
4月25日	会津若松中央公民館神指分館	福島県会津若松市	36人
5月9日	亘理中央公民館	宮城県亘理郡	59人
5月23日	北茨城市民ふれあいセンター	茨城県北茨城市	49人
6月6日	川内村コミュニティセンター	福島県双葉郡	3人
6月27日	二本松福祉センター	福島県二本松市	22人
7月4日	角田市民センター	宮城県角田市	44人
8月8日	森林の分校ふざわ	福島県南会津郡	中止
8月29日	須賀川東公民館	福島県須賀川市	中止
9月5日	サンライフ福島	福島県福島市	中止
9月12日	米沢市たけのこ保育園	山形県米沢市	中止
10月2日	たらちねクリニック	福島県いわき市	36人
10月24日	田村市まち子ちゃんの店	福島県田村市	12人
11月3日	パルシステム東京三鷹	東京都三鷹市	48人
11月13日	パルシステム東京新宿本部	東京都新宿区	49人
12月5日	白石市中央公民館	宮城県白石市	33人
12月12日	保原中央交流館	福島県伊達市	6人
2022年1月9日	北茨城市民ふれあいセンター	茨城県北茨城市	30人
1月23日	南相馬労働福祉会館	福島県南相馬市	20人
2月6日	四倉公民館	福島県いわき市	中止
2月13日	好間公民館	福島県いわき市	中止
3月21日	森林の分校ふざわ	福島県南会津郡	10人
<b>合計</b>	<b>16回</b>		<b>503人</b>

○年齢別検診結果

受検者 1992年4月2日～2012年4月1日生まれ 合計 280人

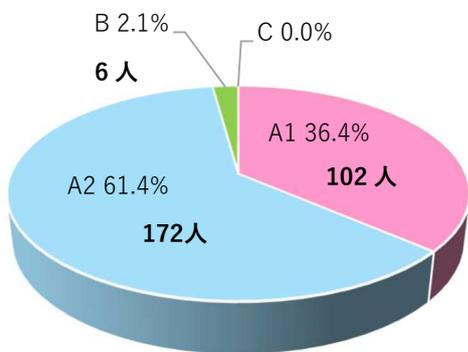


- A1 のう胞、結節が認められない
- A2-b 発育期の反応ではないのう胞
- B 結節 5.1 mm以上、のう胞 20.1 mm以上
- その他 のう胞、結節は無いが甲状腺に異常が認められる
- A2-a 発育期の過程で発生するのう胞
- A2-c 結節 1 mm～5 mm
- C 二次検査を要するもの

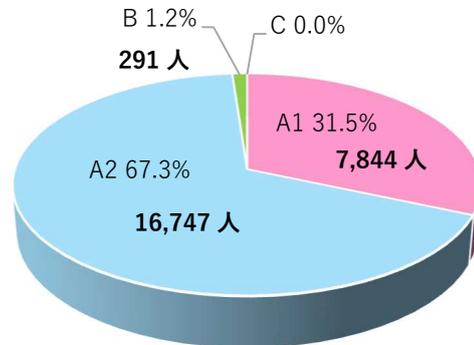
○福島県健康診査との比較図

検診対象者 1992年4月2日～2012年4月1日生まれ

たらちね甲状腺検診 280人



福島県民健康調査 24,882人



出典  
 県民健康調査「甲状腺検査（本格検査5回目）」  
 令和3年6月30日現在

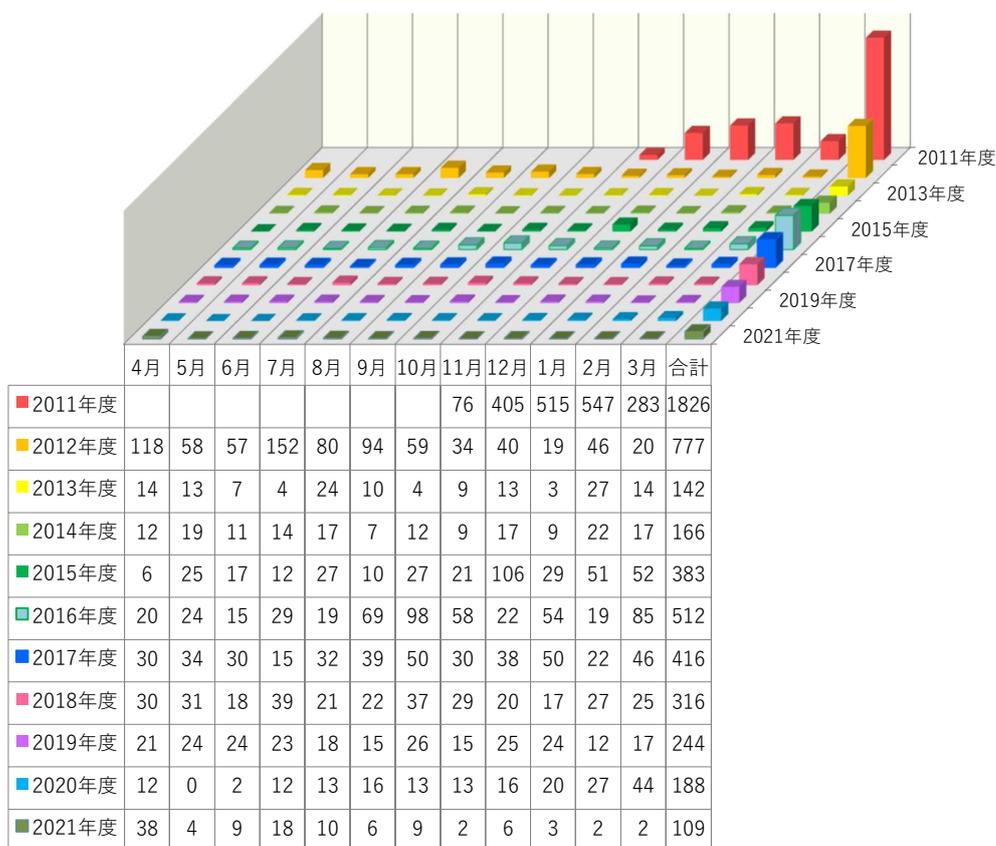
## 【クリニック事業】

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、今年も感染対策を徹底した上で患者さんの受け入れを行ってきました。発熱等で抗原検査を受けられる患者さんと検診などの一般受診の患者さんとの接触を避けるための導線確保など、従来の感染対策に加え、患者さんやスタッフの感染リスクを最小限に抑えるよう、努めてきました。

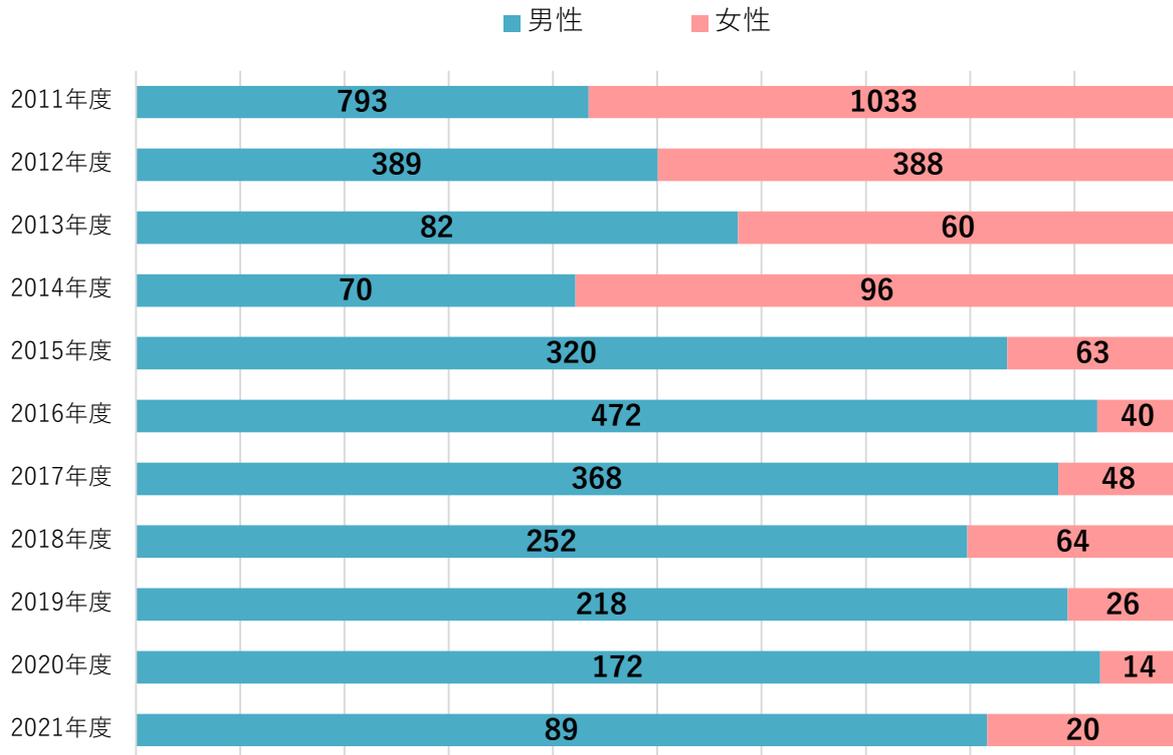
2021年3月から、こどもドックの対象年齢を「受検時年齢18歳以下の方」から「原発事故当時18歳以下だった方」に引き上げました。そして「たらちねこどもドック手帳」を作成して検診の結果などを医師が記録し、受検された方全員への配布を始めました。原発事故から11年が経過し、当時の子どもたちの中には成人し、健康管理を自身で行っている人も少なくありません。時間の経過と共に世代が移り変わる中で、検診の記録を行い、自分自身で健康の見守りをしていくサポートを今後も行っていきたいと思います。また、2020年度から始めた双葉郡や近隣に居住している方や就労されている方を対象とした無料の健康診断を2021年度も継続して行いました。帰還の促進や雇用創出の場も拡大されていることから、更なる人流の増加が予想されます。放射能汚染による被曝の健康リスクや廃炉の作業といつ収束するのか予想もつかない問題を沢山抱えています。今後も幅広い世代の皆さんの健康を見守り続けていきたいと思っています。

### ○ホールボディーカウンター受検者数

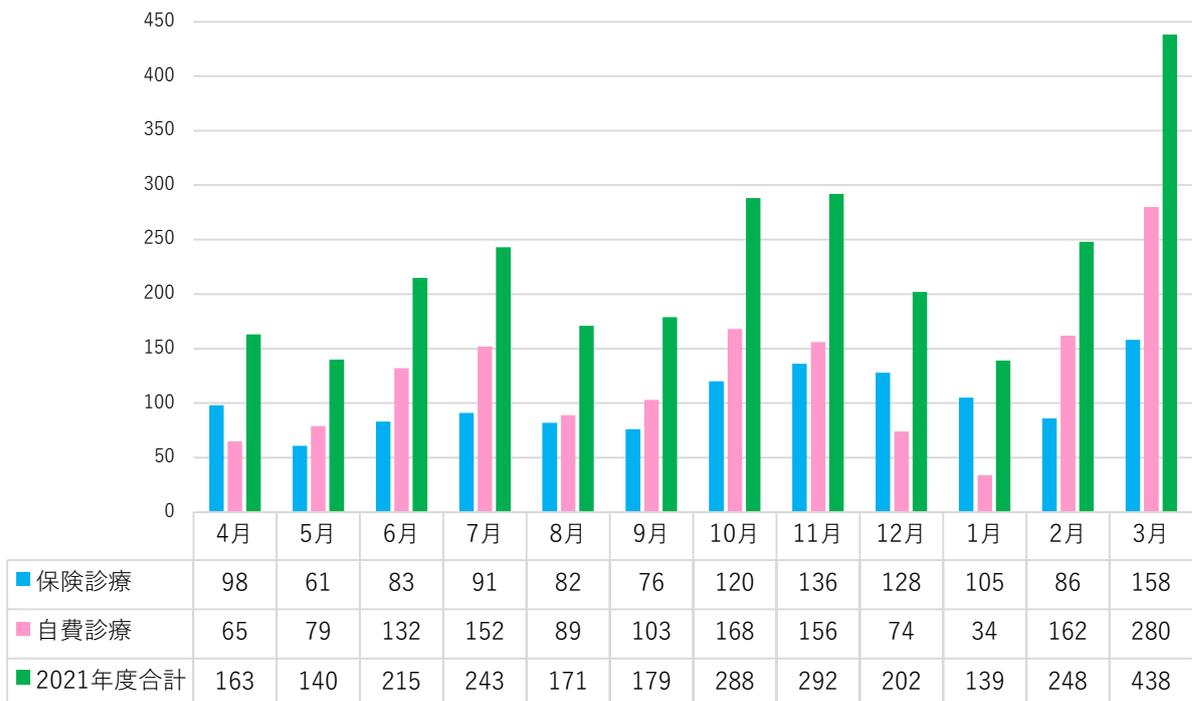
総受検者数 5,079人



○ホールボディカウンター受検者内訳



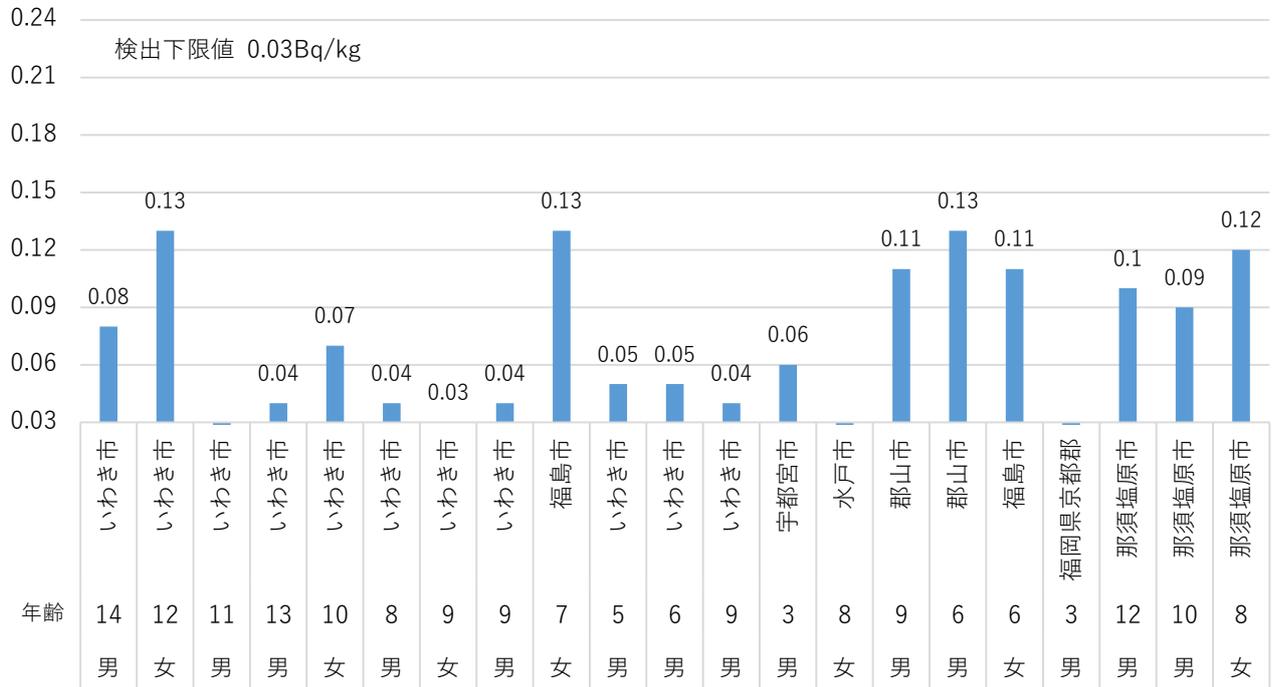
○患者利用数



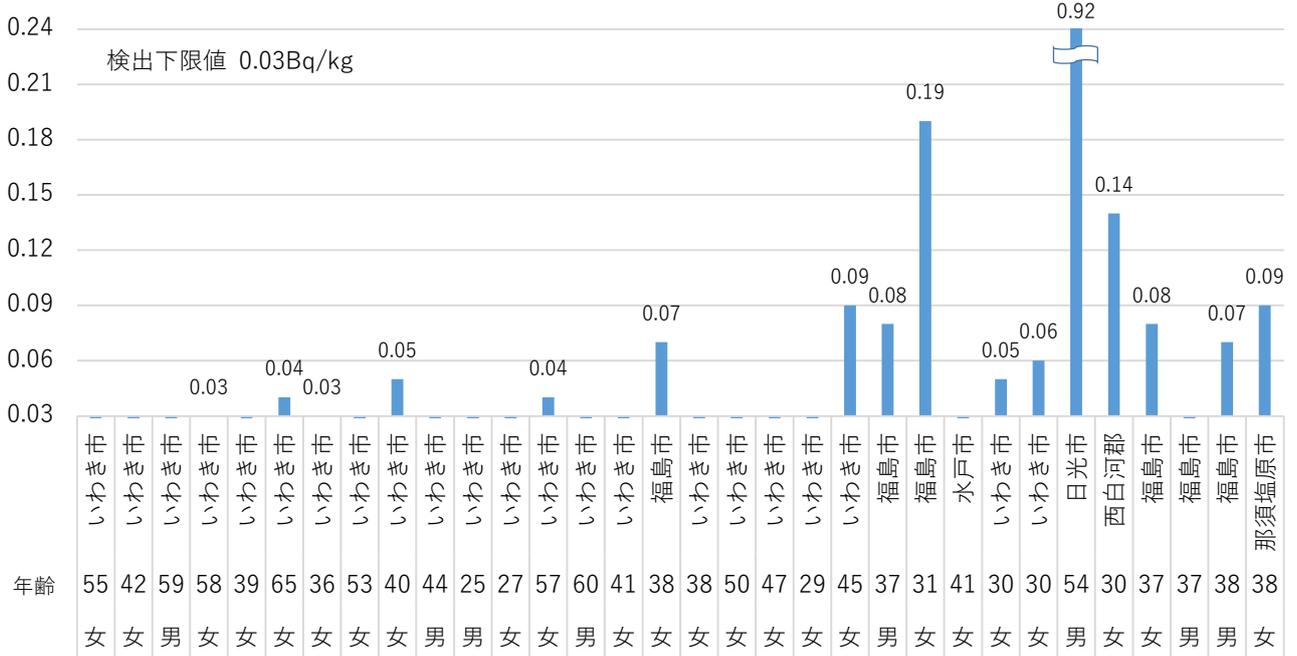


○尿中セシウム測定結果

2021年度 尿中セシウム測定 こども



2021年度 尿中セシウム測定 おとな



## ○無料健康診断の案内

無料健康診断は一般財団法人ふくしま百年基金の「被災者の心の健康を守る福島支援事業」による支援でまかなわれています。



下記の項目を無料で受けることができます！  
希望の項目のみも検査可能です

対象者：双葉郡やその近隣でお仕事をされている方  
双葉郡に現在居住している方、及び居住していた方

ご不明な点がございましたらお気軽にご相談ください

検査項目	参考料金
診察	内科診察
甲状腺超音波(エコー)検査	のう節や結節などの有無を調べます -3,500円-
ホールボディカウンター(WBC)	全身の放射能測定(5-15分間) -1,000円-
尿中セシウム測定	自宅での測定が必要ですが クリニックで専用のキットをお貸しします -4,000円-
身体計測：生理学的検査	身長、体重、視力、聴力、血圧
血液検査	一般的な血液検査項目 (肝臓、腎臓、貧血、炎症反応) などに加えて 甲状腺ホルモンも調べます -5,260円-
尿一般検査	比重、PH、蛋白、糖 ウロビリノーゲン、潜血
胸部レントゲン	-2,400円-
心電図	-1,300円-

たらちねクリニック  
Methers' Radiation Lab & Clinic Fukushima  
〒971-8162 いわき市小名浜名煙町11-3 カネマンビル3階  
認定NPO法人いわき放射能市民測定室たらちね 開設  
TEL 0246-38-8031 FAX 0246-38-8322  
メール tolwase@tarachinewaki.org

この機会にぜひ受けてみませんか？

## ○クリニック利用者の声

- ・学校を卒業してから甲状腺検診を受ける機会がなくなりましたが、たらちねクリニックのことを聞いて受診しました。甲状腺検診をしてくれる病院があまりないのでありがたいです。(20代女性)
- ・子どものちょっとしたケガや病気でも診てくれるので助かります。(40代女性)
- ・初めて来ましたが皆さん優しく接して下さるので、これから何かあった時はたらちねクリニックに来たいです。(70代男性)
- ・注射全然痛くなかった！可愛いシールも貼ってもらってうれしかった！（6歳女児）
- ・子どもが赤ちゃんの頃からお世話になっています。「大きくなったね」といつも声をかけてくれて、子どもの成長を喜んでくれるので嬉しいです。(30代女性)

## 【保養事業】

2021 年度の保養事業は、開催を準備している最中に新型コロナウイルスの感染状況が悪化し、中止せざるを得ない状況が続きました。先の見えない状況の中で、どういった形であれば保養を開催できるか模索し続けた年でもありました。今年度は未来の福島子ども基金、大熊町から避難していたお母さんたちの会の「くまべこ・子どもを守るママの会」とたらちねの3団体の協働で「くまべこお泊り会」を企画しました。度重なる中止のなか、やっと3月に開催することができました。沖縄・球美の里子ども保養プロジェクトは新たに南会津郡只見町での「ふざわファミリー保養」を企画しました。保養場所の周辺は事前に空間線量とサンプリングを行い、線量を確認した上で開催しました。新型コロナウイルスの感染の狭間に無事開催をすることができました。また、従来の久米島での保養も家族単位でのファミリー保養に形態を変え、感染リスクを考慮した上での開催となりました。昨年度に引き続き、オルト・デイ・ソーニのイタリア転地保養は中止になりましたが、保養開催に代わり、子どもたち向けの異文化コミュニケーションのオンラインイベント「イタリア大解剖」を企画しました。多くの子どもたちが参加し、イタリア文化への興味・理解を深める貴重な場となりました。

原発事故から年月が経過すると共に、国内外をはじめ保養企画の縮小化が進み、新型コロナウイルスの感染拡大が更に追い打ちをかける形となりました。現在も福島県や近隣地域では放射能汚染の重篤な場所が沢山あります。放射能汚染が続く限り、それと同時に保養事業も継続させていく必要があると考えています。



## 【あとりえ・たらちね こころのケア事業】

たらちねでは、子どもたちのこころのケア事業を2018年から開始し、今年で4年目となりました。子どもたちを中心に、その家族のサポートも行いながら活動をしています。震災から11年、子どもたちにとって特に重要な存在である母親たちが、2011年3月11日の震災のことを振り返り、言葉にできるようになったのは、やっと10年が過ぎたころからです。母親たちは、こころに深い思いや傷を背負い、「今だから話せる。」ということ声をだすようになりました。そして、同じように、子どもたちのなかには、震災当時のこころの疲れが体の疲れとして現れるというケースがみられました。あとりえ・たらちねの利用者は、一般的な子育て相談や子どもの学校での友人関係など、日常的な悩みがきっかけで訪れる人が大半です。しかし、そのこころを語りにより紐解くと、東日本大震災の恐怖、特に原発事故と放射能から受けるストレスは大きなものだということがわかりました。母と子どもたちのこころは繋がっています。母親たちが11年前に経験した大きな不安と恐怖は、成長した子どもたちのこころに潜在的な緊張をあたえ続けていることがみえてきました。

## ○震災を起点としたピアカウンセリングとこころの井戸

たらちねでは、被災者である私たちが、同じ被災者である地域の人々のこころのケアをしています。これは、1986年に起きた、チェルノブイリ原発事故で行われた、母親たちのこころのケア・ピアカウンセリングに学んだものです。ピアカウンセリングとは、仲間同士によるカウンセリングという意味で、苦しい体験をした者同士が、お互いに支えあい励ましあっていく方法です。その中では、母親たちのナラティブ（物語）が欠かせません。自分たちの経験を言葉にして、語っていくことが、こころの癒しに繋がります。

東日本大震災は、同じこの地に生きる、私たちの共通の体験です。母親同士この体験を起点にして、考え向き合うことが大切です。心の井戸にしまいこんでいた、痛みを互いに語ることで、わたしたちもできることをお母さんと一緒にやってきた1年でした。

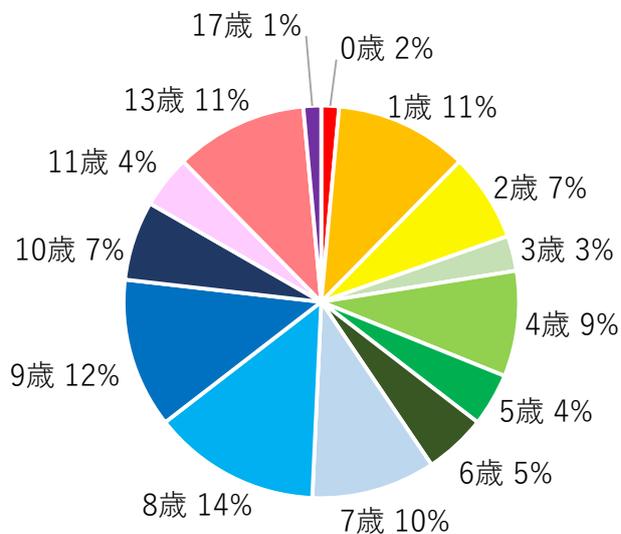
## ○利用状況

あとりえ・たらちねでは、昨年度の春から、お子さんと担当者の「1対1のケア」の受け入れから、「ファミリー単位のケア」を始めています。これは、震災から11年が経ち、震災による核家族化や震災関連で福島県に移り住み仕事をしている方、実家が遠方で子育ての支援が受けられない方など、震災で地域の人々のライフスタイルが変化してきたためです。この受け入れは、多くのお母さんたちに喜ばれました。コロナウイルス感染拡大により、あとりえの利用を停止せざるを得なくなり、34名を受け入れ停止とするなど、コロナに翻弄され続けました。

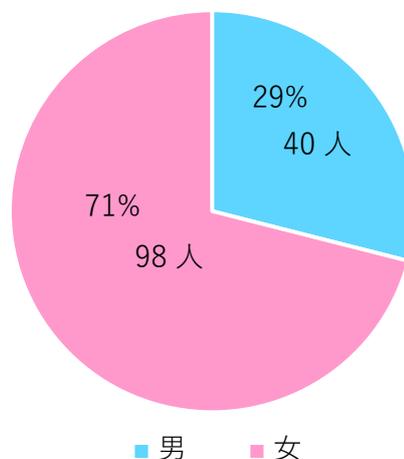
子どもと保護者の利用状況



子どもの年齢別 利用状況



子どもの男女利用状況



【たらちね健康調査プロジェクト】

日本国内で起きた核の汚染による健康被害の実情を調査するプロジェクトです。文献やメディアからの調査と地域の人々からの聞き取りを中心に、データをまとめてきました。被曝による健康被害は、様々な病気になる可能性があること、社会的な事情からデータが隠されてしまったりするため、どのように進めていけばよいのか試行錯誤を続けています。

今年度は、多くの人と出会い、お話を聞きながら人々が感じる健康被害について調査を続けました。

2019 年度から 3 年間継続しましたが、そこから派生した気づきもありました。次年度以降は、これまでの成果を糧にしつつ、新しい展開に進めるよう検討しています。

【実施内容の概要】

4 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の食品基準値を 10 倍に引き上げる動きについての勉強会実施。</li> <li>・イノベーションコースト構想についての見解とまとめ。</li> <li>・ロンドン条約など、国際的な視点から汚染水の放出について考える。</li> </ul>
-----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参考書物 「被曝インフォデミック トリチウム内部被曝—ICRP によるエセ科学の拡散」</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被曝の森 2021 変わりゆく大地「NHK スペシャル」視聴</li> <li>・共生と共進～地域とともに～福島第一原子力発電所 45 年のあゆみ 視聴</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビュー 双葉郡避難者の女性 1 名 いわき市在住の女性 1 名</li> <li>・1950 年代以降の健康被害について文献から調査</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビュー 福島第二原発で働いていた男性 1 名</li> <li>・1950 年代以降の健康被害について引き続き文献から調査</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板倉真琴監督ドキュメンタリー映画「ひとと原発～失われたふるさと～」鑑賞し、新町なみえの市民の活動について勉強会を実施</li> <li>・1950 年代以降の健康被害について文献から調査</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「原発事故時の東京消防庁による放水作業」消防官、小室さんへのインタビュー記事を参考に、2011 年当時の振り返りをした</li> <li>・参考記事・特集</li> <li>東京消防庁 2 次部隊が現地へ</li> <li>東京消防庁の放水 20 時間余り</li> <li>総務省消防庁 災害情報東日本大震災関連情報 東日本大震災記録集 平成 29 年版 消防白書</li> <li>・浪江町町外コミュニティと福島イノベーションコースト構想についての意見交換会の実施</li> <li>・1950 年代以降の健康被害について文献から調査</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ミーティング 双葉郡から避難の女性たち 3 名とディスカッションを実施</li> <li>・1950 年代以降の健康被害について文献から調査</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たらちねお話し会の実施 大熊町から避難の人々を中心に双葉郡の歴史と今について語り合った</li> <li>・双葉郡の帰還推進について調査</li> <li>参考資料 原子力産業新聞「政府、2020 年の住民帰還に向け避難指示解除の考え方示す」</li> <li>東京新聞 「被災自治体職員のメンタル 広域的な支援体制整備を」</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たらちねお話し会の実施 大熊町から避難の人々を中心に双葉郡の歴史と今について語り合った</li> <li>・双葉町 立ち入り困難区域への立ち入りを実施 双葉町の現状を把握した</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・甲状腺癌 東電提訴から被曝によるがんの労災認定について調査</li> <li>白血病 甲状腺癌が再認定されている</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・甲状腺癌 東電提訴から被曝と病気について調査</li> <li>・チェルノブイリ原発事故による病気について調査</li> </ul>
3月	まとめ

## 【講演会・勉強会】

2021 年度の講演会・勉強会は新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら、会場参加型とオンライン開催型と、様々な形式で開催しました。また、会場参加型の講演会は録画内容を you tube にアップするなどして、当日参加できない方向けにも情報提供できるようにしました。

### 講演会・勉強会・イベント開催一覧

- ①2021年6月5日 イタリア大解剖～イタリアから見えてくる広い世界～Vol.1 イタリアの学校編  
在イタリア NPO 法人 オルト・デイ・ソーニとの共催企画(オンライン)  
参加人数 20 名



- ②2021年6月9日 チドリカフェ  
ウィズアス・プロジェクト(東京)との協働企画(オンライン)  
参加人数 11 名

- ③2021年6月13日 40年後の子どもたちの未来と海 みんなで学ぶ 福島第一原発の汚染水・本当のこと 満田夏花 お話し会(オンライン)  
参加人数 212 名

- ④2021年6月19日 福島の汚染の現状とたらちねの放射能測定の取り組み 勉強会  
在イタリア NPO 法人 オルト・デイ・ソーニとの共催企画 勉強会(オンライン)  
参加人数 12 名

- ⑤2021年7月10日 渡辺久子講演会&トークセッション 原発事故から10年目コロナ禍を生きる  
こどもたちのために  
トークセッション:目に見えない災害 市民科学は母親たちのこころをどう支えたか(オンライン)  
参加人数 101 名

- ⑥2021年7月14日 チドリカフェ vol.2  
ウィズアス・プロジェクト(東京)との協働企画(オンライン)  
参加人数 7 名



- ⑦2021年7月27日 こそだてとナラティブ With おがわわわ  
参加人数 保護者6名、子ども5名

- ⑧2021年8月11日 チドリカフェ vol.3  
ウィズアス・プロジェクト(東京)との協働企画(オンライン)  
参加人数 12 名



⑨2021年9月8日 チドリカフェ vol.4

ウィズアス・プロジェクト(東京)との協働企画(オンライン)

参加人数 23名

⑩2021年10月13日 チドリカフェ vol.5

ウィズアス・プロジェクト(東京)との協働企画(オンライン)

参加人数 13名

⑪2021年10月19日 こそだてとナラティブ With おがわわわ vol.2

参加人数 保護者6名



⑫2021年11月17日 チドリカフェ vol.6

ウィズアス・プロジェクト(東京)との協働企画(オンライン)

参加人数 13名

⑬2021年12月13日 こそだてとナラティブ With おがわわわ vol.3

参加人数 保護者6名

⑭2021年12月15日/食と放射能の説明会/放射線物理の基礎と福島県産の農産物の安全性について

講師：申 文浩 (会場参加&オンライン)

参加人数 17名



⑮2021年12月15日 チドリカフェ vol.6

ウィズアス・プロジェクト(東京)との協働企画(オンライン)

参加人数 7名

⑯2021年12月18日 イタリア大解剖～イタリアから見えてくる広い世界」vol.2 イタリアの食べ物・クリスマス編(オンライン)

参加人数 23名

⑰2021年12月20日 たらちね&縄文の会 協働企画 いわきの縄文散策 第1弾

参加人数 7名

⑱2021年12月27日 科学寺子屋た・ら・ち・ね 第1弾 おしえてゆずる先生 魚とはどんな生きものだろう？

参加人数 17名



⑲2022年1月12日 チドリカフェ vol.7

ウィズアス・プロジェクト(東京)との協働企画(オンライン)

参加人数 7 名



⑳2022年3月5日 たらしね活動報告会(オンライン)

参加人数 150 名

### 【広報活動】

東日本大震災が発生した3月前後は海外メディアの取材依頼や各地で行われているイベントへの登壇依頼を多く頂きました。時間の経過と共に原発事故に関する報道が減ってきている中、たらしねの活動を通して、国内外へ向けた情報発信の重要性を感じています。ホームページだけでなく、多種類の SNS ツールを用いて、幅広い世代に情報発信を行いました。また、新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえて、見学は人数制限をした上で受け入れを行いました。

#### ○SNS フォロワー数

- ・フェイスブックフォロワー数 14,504 人(3月末時点)
- ・インスタグラムフォロワー数 919 人(3月末時点)
- ・ツイッターフォロワー数 609 人(3月末時点)
- ・たらしねアプリダウンロード数 499 名(3月末時点)

#### ○登壇

- ①2021年4月17日 福島原発震災情報連絡センター 福島原発震災10年 オンライン交流集会(オンライン) テーマ：放射線測定と子どもたち
- ②2021年4月25日 「さあ！控訴審へ！ 東電刑事裁判・逆転勝利をめざす集会」(オンライン) 甲状腺検査、学校検診について
- ③2021年8月1日 たかつき保養キャンプ・交流会 「画面を越えてつながろう今のふくしまと」(オンライン)
- ④2021年10月23日 大阪大学大学院人間科学研究科 未来共創センター主催 災害と福祉のまちづくりセミナー(第3回)(オンライン)
- ⑤2021年10月31日 東京パルシステム主催 2021年度子どもの甲状腺検診事前学習会(オンライン)
- ⑥2021年12月12日 日本乳幼児精神保健学会 JAIMH 郡山大会(オンライン)
- ⑦2022年2月5日 WE21 ジャパン青葉 「福島第一原発事故災害から11年～子どもたちの不安と

実情」(オンライン)

⑧2022年3月9日 第23回環境放射能研究会

⑨2022年3月15日 「さようなら原発」一千万署名市民の会 今の福島を知る②-放射線量測定と医療現場から見えるもの-

⑩2022年3月27日(シアトル時間3月26日)

Songs of Hope ZOOM 演芸会

○メディア掲載情報・取材・見学

2021年4月放送

韓国 TV 局 KBS 処理汚染水の海洋放出について

<https://youtu.be/rLwAHKfFD70>

2021年6月号

f visions No.3 「たらちねの活動から見た被災地の10年～そしてジェンダーの壁」

2021年6月号

パルシステム 放射能レポート 「子どもの健康と未来を守る」

2021年8月号

ネパリ・バザーロ ニュースレター

2021年8月末放送

France 24

<https://www.france24.com/en/tv-shows/focus/20210826-the-never-ending-ordeal-of-handling-radioactive-water-at-fukushima>

2021年8月

Amnesty Journal

<https://www.amnesty.de/amnesty-journal-das-magazin-fuer-die-menschenrechte>

読者層：ドイツ、オーストリア、スイス圏

2021年10月

「市民のためのがん治療の会」No.455 20211026

『NPO 法人いわき放射能市民測定室「たらちね」ラボからトリチウムの測定報告』

[http://www.com-info.org/medical.php?ima\\_20211026\\_suzuki](http://www.com-info.org/medical.php?ima_20211026_suzuki)

2021年12月

中国上海東方テレビ 東京支局

[http://m.kankanews.com/n/1\\_10006832.html](http://m.kankanews.com/n/1_10006832.html)

2022年1月号掲載

雑誌 TOMO-MICHI

2022年1月号

パルシステム 機関紙わいわい

シリーズ 明日へそして前へ「甲状腺検診は大切な人を想うメッセージ」

○見学人数 26名

以上、2021年度認定NPO法人いわき放射能市民測定室たらちねの事業報告といたします。